

2023年12月15日

各 位

東京都中野区本町一丁目 32 番 2 号
会 社 名 アクセルマーク株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号：3624 東証グロース)
問 合 せ 先 経営管理部 若海 正弥
(TEL 03-5354-3351)

(開示事項の経過) ヘルスケア事業への本格参入に関するお知らせ

当社は、2023年12月15日開催の取締役会において、Ascella Biosystems, Inc. (本社：米国カリフォルニア州 CEO：DeepakBoggavarapu、以下「Ascella社」といいます。)との間で、投資に関する契約(以下「本契約」といいます。)を締結し、当社の主要株主であるウィズ AIoT エボリューション ファンド投資事業有限責任組合および THE ケンコウ FUTURE 投資事業有限責任組合の業務執行組合員である株式会社ウィズ・パートナーズ(本店所在地：東京都港区、代表取締役社長：松村淳、以下「ウィズ・パートナーズ社」といいます。)と共に Ascella 社の経営権を取得し、ヘルスケア事業に本格的に参入することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. ヘルスケア事業への本格参入の目的

かつて、当社はスマートフォン向けアプリを中心としたオンラインゲーム開発を行ってまいりました。オンラインゲーム開発は大きな資金がかかる一方、ヒットした際のリターンが大きいビジネスでした。しかし、近年は求められるゲームソフトウェアの性能が高くなり、開発費が増大したため、2020年7月31日付で公表した「(開示事項の経過) ゲーム事業等の譲渡、特別利益の発生および2020年9月期第3四半期決算速報値(連結)に関するお知らせ」のとおり、当社は2020年9月付でゲーム事業を譲渡し、ゲーム開発事業から撤退いたしました。

他方、2021年4月22日付で公表した「米・医療機器会社 Ascella Biosystems, Inc. への出資および業務提携に関するお知らせ」のとおり、当社は再び利益率の高い事業に参入するため、IoT ヘルスケア製品を導入し、Ascella社が開発中の「Ascella Real Time System」について、日本国内での使用、輸入、製造、販売、及び販売委託に関するサブライセンス付きの独占権を得ることを目的としたビジネス展開などを推進してまいりました。今後は、医療機器製造販売業許可取得も視野に入れ、「Ascella Real Time System」に関する独占権を活用したさまざまな製品やサービスの展開など、利益率の高いヘルスケア事業に本格的に参入していくことを決意しております。

2. 感染症検査システム早期実現に向けたジョイントベンチャー開始

第一弾として、以前出資した Ascella 社と継続的な議論を重ね、更なるデューデリジェンスを通じて、当該ビジネスを日本国内でウィズ・パートナーズ社と共同で展開することといたしました。

Ascella 社の有する技術「Ascella Real Time System」は、等温核酸増幅法による分子診断技術を基盤とし、PCR 検査と同等以上の高い検出感度・特異性かつ、約6分で迅速に様々な感染症の原因となるウイルスや細菌を検出可能です。ハンディタイプの IoT 検出デバイスと使い捨ての検査キットによる「いつでも、どこでも、すぐに」検査を行えるポイント・オブ・ケア・テストとして、様々な利用状況での需要を見込んでお

ります。Ascella 社の技術は、国立研究開発法人理化学研究所への委託研究において、十分な蓋然性が証明されており、コロナウィルス、インフルエンザだけでなく、性感染症検査への応用の可能性が示されております。

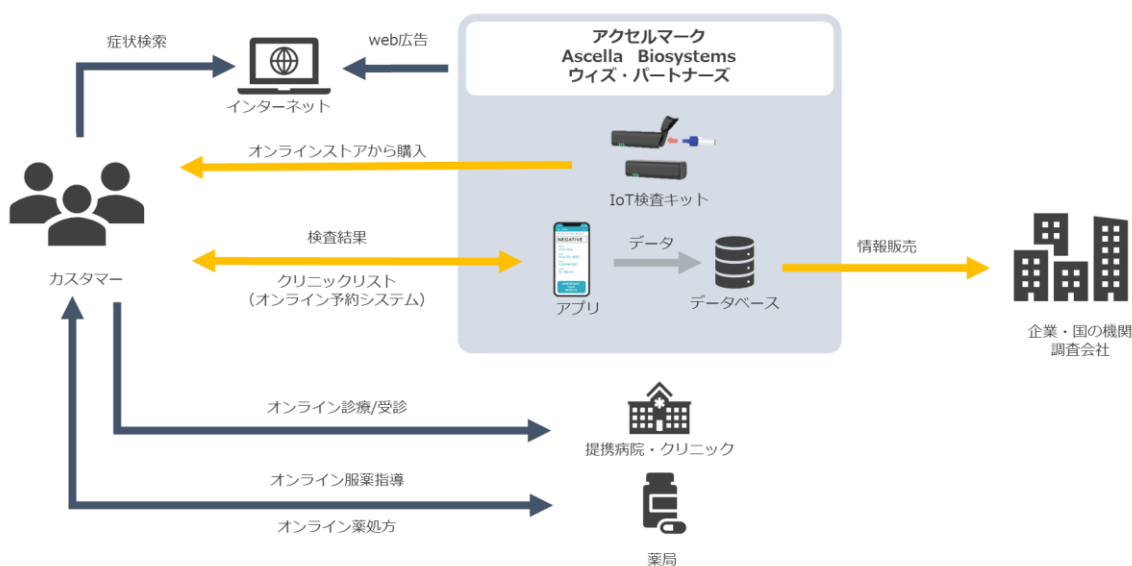
■ハンディタイプの IoT 検出デバイス



3チャンネルポケットサイズ (左)
(75 mm x 30 mm x 15 mm)
* 右は大きさの比較のための電子タバコ

※画像は開発中のものであり実物と異なる可能性があります。

Web/クラウド上で完結する感染症検査プラットフォーム



世界の迅速診断薬市場は 2033 年には約 294 億ドル (※ 1) になると予想されております。国内ではコロナウィルス、インフルエンザ感染者は年間推定 1,000 万人以上 (※ 2) といわれているなか、迅速診断が主流となっている抗原検査は感度が 50~70%程度であり、発症後 12 時間以前では約 35%まで低下するといわれております。一方で、PCR 検査は一般的に 90%以上の感度があるといわれておりますが (※ 3)、高額な機器が必要なことから、多くのクリニック等では検査会社への委託検査となり、検査結果が判明するまで 1 日以上の時間を要します。「Ascella Real Time System」は、PCR と同じ核酸増幅法を基盤とするポイント・オブ・ケア診断を提供し、抗原検査による迅速診断の課題である感度の低さを克服し、早期診断・早期治療に貢献いたします。

また、性感染症は世界で年間推定 3 億 5700 万人以上 (※ 4) が感染しており、その拡大が問題となっております。国内においても年間推定 50 万件以上 (※ 5) の性感染症検査が行われ、108 億円の市場規模 (2022

年) (※6) がありますが、性感染症の大部分は無症状であるとともに、疾患の特性上心理的な抵抗が強く、病院での受診をしない患者が多数存在することが予想されるため、潜在的な市場規模はその数倍あると考えられます。これらの潜在感染者は、感染拡大のひとつの要因となっていると考えられ、心理的ハードルの低い検査の開発が急務となっております。「Ascella Real Time System」においては、自身の唾液や尿などを採取し、検査キットに差し込むことで、約6分で迅速に検査結果をスマートフォンアプリ等でセルフテストすることが可能です。セルフテストの結果、感染が疑われる場合には、スマートフォンアプリ等を通じて近隣のクリニックの紹介やオンライン診療・服薬指導に関する機会の提供など、自宅にしながら、セルフテストからクリニックを通じた診断、治療薬の処方までをワンストップで提供するプラットフォームの開発を予定しております。病院を受診する前に匿名性を維持したまま感染状況を確認することができ、感染拡大防止にも役立つものと考えております。

Ascella 社では、「Ascella Real Time System」の早期実用化を目指し開発を進めており、当社は、当社主要株主であるウィズ・パートナーズ社と共に、生命医科学の専門家監修のもと、技術評価を本格的に行い技術の再現性を確認し、ビジネスを十分に構築できると考察してまいりました。

その結果を踏まえ、当社では事業の将来性や、当社における戦略上の重要性に鑑み、市場獲得するためには、デバイスの完成化も含め、あらゆる面でのスピードが重要であると判断し、Ascella 社の株式を取得した時点で当社が 27.24%、ウィズ・パートナーズ社が 28.38%、両者合計 55.62%の持分割合とし、当社とウィズ・パートナーズ社との合弁事業として、共同で Ascella 社の経営支配権を確保し、Ascella 社の経営意思決定の迅速化を図ると同時に「Ascella Real Time System」の開発、製造に注力し、まずは国内においてビジネスを構築していくことを決定いたしました。

当ビジネス構築後、当社は「Ascella Real Time System」の製造販売、広告配信サービス、広告配信サービスを通じて入手したビッグデータの分析結果を提供することによる販売効率化支援、および検査結果表示アプリの開発・運用支援を行う予定です。

3. ヘルスケア事業への本格参入のために特別に支出する金額及び内容

本契約による株式取得のために特別に支出する金額として、100 万ドルを予定しております。

4. Ascella 社の概要

名称	Ascella Biosystems, Inc.	
所在地	150 HOOPER ST SUITE 212, SAN FRANCISCO, CA 94107	
代表者の役職・氏名	Deepak Boggavarapu ,Chief Executive Officer	
事業内容	医療診断機器の開発	
資本金	1 千米ドル	
設立年月日	2020 年 6 月 (デラウェア州)	
大株主および持株比率	Deepak Boggavarapu、 Lucian Orbai、 Eric Kool	
上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が対象会社のシードラウンドの Convertible Note の一部を保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

※Ascella 社の業績に関しては、先方の意向も踏まえて非公表といたします。

5. 日程

取締役会決議日	2023 年 12 月 15 日
本契約締結日	2023 年 12 月 15 日 (予定)
株式取得日	2023 年 12 月 (予定)
新事業開始日	2024 年 10 月 (予定)

6. 今後の見通し

本件を実行することにより、Ascella 社は当社の持分法適用会社となる見込みであり、中長期的に当社業績へ寄与するものと考えております。

今後、公表すべき事項が生じた場合にはすみやかに開示いたします。

(出典)

- ※1 迅速診断薬市場-世界の展望と予測 (2023-2033 年)
- ※2 厚生労働省「データからわかるー新型コロナウイルス感染症情報ー」
厚生労働省「新型インフルエンザに関する Q&A」
- ※3 Annals of Internal Medicine「Accuracy of Rapid Influenza Diagnostic Tests」
- ※4 厚生労働省 検疫所「性行為感染症について」
- ※5 国立感染症研究所のクラミジア、淋菌の定点報告と国内の産婦人科、泌尿器科の数を基に当社推定
- ※6 株式会社富士経済「性感染症検査薬の 2022 年国内市場は 108 億円」

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先>
アクセルマーク株式会社 経営管理部
メール：ir@axelmark.co.jp